

議会だより かどがわ

1

NO.129

門川町議会広報

January.2012



やすい
保井ヶ浜から見た日の出

| | |
|----------------------|-------|
| 補正予算を可決 | 2P~3P |
| 一般質問 8名が登壇..... | 4P~8P |
| 条例改正・意見書等..... | 9P |
| 研修報告/議会のうごき..... | 10P |
| 臨時会..... | 11P |

一般会計補正予算

3億7,107万円を追加

平成23年第4回定例会を12月6日から12月13日までの8日間開きました。条例3件・補正予算3件・発議1件・陳情1件、その他2件を審議し、全て原案通り可決しました。一般質問は、7日、8日に8名が登壇し、町政について論戦を行いました。

《一般会計補正予算》

歳入

〈金額は万円未満を省略しています〉

| | |
|-------|-----------|
| 地方交付税 | 3億2,525万円 |
| 負担金 | 2,064万円 |
| 県支出金 | 5,570万円 |
| 町債 | 722万円 |
| 国庫支出金 | ▲1,013万円 |
| 繰入金 | ▲3,000万円 |

介護保険事業特別会計補正予算

【5,389万円減額 総額15億978万円(全員賛成で可決)】

| 主な歳入 | | 主な歳出 | |
|----------|----------|--------------------|----------|
| ・繰入金 | 251万円 | ・地域密着方介護サービス給付費負担金 | 2,837万円 |
| ・保険料 | ▲586万円 | ・居宅介護サービス給付費負担金 | ▲2,037万円 |
| ・国庫支出金 | ▲2,445万円 | ・施設介護サービス給付費負担金 | ▲4,500万円 |
| ・支払基金交付金 | ▲1,649万円 | | |
| ・県支出金 | ▲958万円 | | |

全員賛成で可決

総額70億9,417万円



主な歳出

〈()内は主な財源〉

| | |
|----------------------|----------------|
| 財政調整基金積立金 | 2億円 |
| グループホームスプリンクラー設備補助事業 | 505万円(県補助金) |
| 児童措置事業 | 2,212万円(国県負担金) |
| 乳幼児・ひとり親家庭医療費助成事業 | 660万円(県補助金) |
| し尿処理維持管理事業 | 1,069万円(一般財源) |
| 強い農業づくり交付金事業 | 1,400万円(県補助金) |
| 山間地域肉用牛生産システム支援事業 | 503万円(県補助金) |
| 森林整備地域活動支援交付金事業 | 950万円(県補助金) |
| 町道中須9号線用地買収事業 | 620万円(県負担金) |
| 農業・林業用施設災害復旧事業 | 462万円(県補助金) |
| 予備費 | 7,894万円 |
| 子ども手当給付事業 | ▲2,748万円 |

簡易水道事業特別会計補正予算

【19万円追加 総額1,170万円(全員賛成で可決)】



広告事業の推進による財源の確保について

菊地 稿治

町長：広告媒体としての利用可能な公共物について調査・研究していく

問 本町が持つあらゆる資産に民間企業などの広告を掲載して、収入増や経費の削減等を図ってはどうか。

町長 民間の広告導入については、厳しい財政状況の中、自主財源の確保や経費削減の有効な手段の一つと考えている。現在、テレパル50や暮らしの便利帳等は、管内の企業や事業所からの広告収入により作成を行っており、経費の削減に務めている。

問 役場庁舎の現状及び将来の整備計画について

町長

庁舎の現状は、本館1階の増改築工事や、耐震補強工事等を実施した結果、震度6強程度の地震に対しては、倒壊、崩壊の危険性が低い建物となっている。

今後は、耐用年数（50年）の経過を一つの目安として、改修及び建替等について検討委員会を設置等を検討する必要があると考えている。



耐震補強工事をした庁舎

問 町長は、宮日新聞の原発に対するアンケートに「将来

町長 今回は、県町村会が9年ぶりに主催し、県内で4人の町長が調査テーマに賛同して参加した。行き先は、ドイツとフランスで、ドイツでは、森林・林業施策とバイオエネルギー村プロジェクト、またフランスでは、広域行政、少子化対策などの調査を行い、町の将来の行方を模索する上で大変有意義だった。

問 本町のエネルギービジョンでは、平

町長 ドイツのユーンデ村は小さな村なので、そのまま門川町に取り入れられるか疑問があるが、今回、心の杜にペレットボイラー施設を導入したように自然エネルギーを検討していく上で参考になった。

町長 指摘されたことを心にとめながら予算編成に臨む。
*他に24年度予算の考え方について

問 海外地方行政調査については。



町長：町の将来を模索する上で大変有意義

海外地方行政調査の目的・内容・効果は

的には太陽光発電などの自然エネルギーへの代替を望む」とコメントしている。ドイツは環境先進国で、脱原発でも先進国である。今回の調査をどう生かしていくのか。

成22年度炭素年度炭素排出量は、3.5%削減になっているが目標達成は。

総務企画課長 今後は数値がでるよう努力していく。

問 今後、町民の暮らしに根付き、なおかつ経済的にも助かるような太陽熱温水器や太陽光発電などの自然エネルギーの予算編成への考えは。

一般質問 8人が登壇!

町政を問う!



一般質問とは、議員それぞれの考え方に基づき、町長等に対して、町政全般について所信や疑義を問うものです。

議員は、質問の要旨をまとめて、事前に議長に通告します。

市町村合併は



町長：自立の経緯を尊重する
安田 厚生

問 合併特例債等がない今こそ本町の市町村の連携が図られ、合併を含めた議論をすることが大切と思われる。本町の将来をどのように考えているのか。

町長 合併せずに自立の道を歩むに至った経緯を重く受け止め、民意を尊重していきたい。

臭気対策について

問 養鶏場の臭気対策は。

町長 農家と非農家の混住化があり、非常に難しい問題。臭気緩和剤の

問 地元の水産加工場が魚の加工時に不要となる頭や内臓を活用し、乳酸発酵による飼料も開発されている。水産加工場と養鶏場が連携した臭気対策は図られないか。

町長

プロイラー経営者は食肉会社と契約し、飼養管理の指導が行われるなど一体的な経営がなされている。本町の飼料の取り扱いが困難であるが、バイオマ

問 国道388号線（五十鈴く小園）の区間を今後どのように整備していくのか。
町長 平成16年に地元説明会を開催した際、計画路線について意見が分かれ、地元要望が集約できていない。今後は交通安全対策を踏まえた上で、地元の声も十分に聞いて、整備方針が示せるよう努力する。



市町村合併問題の検証は

米良 昭平

町長：検証には時間が必要

問 国保税は町民の負担が年々増加している。税の引き下げのためには、医療費抑制が必須である。

町長 これまで実施してきたパーフェクトメニュー事業の

国保税は町民の負担が年々増加している。税の引き下げのためには、医療費抑制が必須である。これまで実施してきたパーフェクトメニュー事業の

町長 日向市・東郷町との合併に取り組んだが、平成15年12月定例会において、自立の道を歩むと決まった。検証にはもうしばらく時間が必要と考える。

問 門川町は合併せず、単独という選択をしたが、そのことを検証する時期だと考える。

推進や、高齢者の健康維持活動にさらに積極的に取り組む必要があると考えるが。



高齢者クラブを楽しむゴルフ（城屋敷）

問 国保税の減額の取り組みは

国保税は町民の負担が年々増加している。税の引き下げのためには、医療費抑制が必須である。

また、高齢者に健診の大切さ、生活改善ポイントなどを説明し、医療費の抑制を図っている。

また、高齢者に健診の大切さ、生活改善ポイントなどを説明し、医療費の抑制を図っている。

また、高齢者に健診の大切さ、生活改善ポイントなどを説明し、医療費の抑制を図っている。

また、高齢者に健診の大切さ、生活改善ポイントなどを説明し、医療費の抑制を図っている。



介護予防への取り組みは

町長：第5期介護保険計画を基に検討する

請関 義人

問 高齢者社会を迎えて、今後、介護予防への取り組みは。

町長 「いきいき百歳体操」の実施は。

問 「いきいき百歳体操」の実施は。

町長 議会の視察調査報告より情報を得て、試験的に、希望があった2地区で導入した。

町長 議会の視察調査報告より情報を得て、試験的に、希望があった2地区で導入した。

町長 本町の高齢化率は現在26・1%であり、介護認定者数も年々増えている。給付費も一年間で9100万円伸びている。

町長 今後は、策定中の第5期介護保険計画を基に、関係機関との連携を図り、現在実施している予防事業の見直しや課題抽出を再度行い、効果的な予防事業につなげていきたい。



いきいき百歳体操（加草1区）

問 自然をベースにした憩いの場所が限られているが、整備に取り組む考えは。

町長 現在は、夏季限定で、大丸小松地区に簡易トイレを設置している。また次世代育成支援対策において、自然体験活動を推進している。自然と親しむことは大変重要と認識している。

現在は、夏季限定で、大丸小松地区に簡易トイレを設置している。また次世代育成支援対策において、自然体験活動を推進している。自然と親しむことは大変重要と認識している。

延岡南道路無料化の再開を

岩佐 祐一

町長：延岡市、日向市と共に無料化の実現に努力する



問 延岡南道路の無料化実験の成果を、町として認識しているか。

無料化実験が凍結され国道10号線土々呂地区周辺の渋滞が再び生じており、朝夕の通勤、地域経済や防災、救急医療、物流等々に大きな問題がある。町として、延岡市、日向市と共に県、国に無料化の再開を図るよう要望する考えはないか。



延岡南道路入口（国道10号線）

町長 高速道路の無料化実験については、地域経済の活性化を図るため、全国37路線50区間を対象とし、約1年間実施された。延岡南道路の交通量の増加率は無料化前と比べると38%と、全国でも非常に高い結果となり、交通渋滞の緩和、町民の利便性の向上に大きく効果が現れた。

町として、延岡市や日向市とも連携した要望活動を推進しながら延岡南道路の無料化の実現に努力していく。

食品の放射能測定機器の購入は

水永 正継

町長：延岡保健所を利用したい

誘致企業対策は

町づくりの展望は

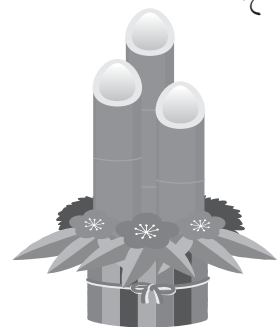
問 「地方消費者行政活性化交付金」を活用して、食品の放射能汚染を測定する機器の購入はできないか。

町長 町外の誘致企業が町外に移転するようだが、町内に留める等の努力をしたのか。

町長 「日本一住みよい門川町」の実現を目指し、「自然が元氣・人が元氣・町が元氣」「町民が主役で町民が輝く町づくり」「人と人との心がかよう町づくり」を基本理念に、「町民一人ひとりが主役の町づくり」を推進しているところである。

町長 消費者庁では、交付金を利用して放射能測定機器購入などができると通知しているが、門川町では、放射能測定機器購入以外の事業計画をすでに県に提出している。

本年度延岡保健所に食品の放射能測定機器が導入されるので、それを利用していきたい。



浄化槽の維持管理費の助成は



町長…今後の検討課題

森川 春夫

問 川や海を環境を守るために、浄化槽は適正な管理を行う必要がある。維持管理は適正に行われているか、管理に對する周知の方法及び状況は。

町長

浄化槽法では、管理者に、保守点検、清掃及び法定検査の三つの義務を定めている。しかし、特に法定検査の受診率が低かった

町長

管理費用への助成は、昨年九月議会の同様の一般質問で、前向きに検討と答弁したが、先の震災の影響で、浄化槽設置の国県補助金の確保が厳し率は上昇している。今、目標基数達成のため町費を投入している。助成は負担増のため非常に厳しく、今後の検討課題としたい。



他の質問
・例規集の整備について
・船の係留場の整理について

規約変更

その他

宮崎県北部広域行政 ○日向東臼杵南部広域事務組合規約の変更に関する協議
連合の規約の変更
○門川町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

(全員賛成)

(全員賛成)

(全員賛成)

市町村の配置分合から一定期間が経過し、9市町村で組織され、激変緩和期間を終えた宮崎県北部ふるさと市との考えから、合併後の町村圏基金を創設し、その運用益で事業を行っている。県も出資していたが、県は新たに宮崎県市町村間連携支援基金設置事業に取り組むため、本基金から撤退する。規約中の県支出金を削除する変更。

主な質疑応答

問 県が撤退することで、事業への影響はないか。

答

運用益で事業を行っており、支障はない。



| 補充員 | 選挙管理委員 |
|--------|--------|
| ・川井 清一 | ・岩田 幸生 |
| ・立花康三郎 | ・姫野 市郎 |
| ・中島 道代 | ・櫻川 輝男 |
| ・原田 良一 | ・本田 吉一 |

条例改正

陳情

意見書

○門川町福祉健康交流研修センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

(全員賛成)

主な質疑応答

問 使用料の見直しの過程は。

答

均衡を図る目的で、作業部会で検討してきた。

○門川町使用料徴収条例の一部を改正する条例

(全員賛成)

○災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

(全員賛成)

この2件の条例改正は、心の杜の体育室や他の体育施設の使用料に、バラつきがあるため、公平性を図る観点から使用料の改定を行うもの。また心の杜の宿泊者の翌日の入浴料を無料に

上位法である災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正があり、それに伴うもの。支給対象に兄弟姉妹が加わり、支給する場合の順位を定める改正。

平成24年4月1日より適用。

○漁船用軽油税に係る軽油引取税の免税に関する国の意見書の提出を求める陳情書

(全員賛成)

内容については、

- ① 漁船に使用する軽油にかかる軽油引取税の免税措置について、恒久化すること。
- ② 農林漁業用A重油にかかる石油石炭税の免税・還付措置について、恒久化すること。
- ③ 地球温暖化対策税については、漁業者の負担が一切増えることのないよう万全の措置を講ずること。とくに燃油への課税についてはA重油に限らず、軽油も含めて油種にかかわらず負担税を回避するよう措置すること。

と。

○漁船用軽油税に係る軽油引取税の免税に関する意見書

(全員賛成)

前述の陳情書採択を受けて、国へ意見書を提出することを可決。

○地方財政の充実・強化を求める意見書

(全員賛成)

改正するもの。

支給対象に兄弟姉妹が加わり、支給する場合の順位を定める改正。

平成24年4月1日より適用。

支給対象に兄弟姉妹が加わり、支給する場合の順位を定める改正。

議会広報編集 特別委員会報告

11月28、29日の2日、より住民の立場に間にわたり議会広報編集立って編集をする事が集の研修及び視察調査 大事である等、様々なを行いました。

28日は、宮崎市の宮崎観光ホテルに於いて、また、研修会終了後、本町議会の『議会だより』の診断を

受けましたが、文字をもっと大きくする、段落を入れる等、いくつかの改善点を指摘され、大変有意義な研修会でありました。

講師にはエディター 落をいれる等、いくつかの改善点を指摘され、大変有意義な研修会でありました。

「議会だより」を発行する意義は、「住民の関心・意識の高まりに込め、より住民に近い議会を実現するために、幅広い議会活動を理解してもらう」ことにある、そのため、「報告」より「議論」を重視



研修会で診断を受ける様子



西原村での研修の様子

議員全員で発行するものであるとの認識にたつこと。

② 編集は、読者中心主義に務める。

③ 記事として編集し、作文としての記事ではなくありのままを掲載する。(情報公開)

④ マンネリ化の防止

⑤ 行政用語は、一般住民がわかりやすい説明文を挿入する。などです。



議会のうごき

10月

- 20日(日) 町内小学校運動会
- 9日(日) 町民体育大会
- 13日(木) 宮崎県町村議会議長会臨時総会 第52回議員大会
- 15日(土) 社会福祉法人かえし合同運動会
- 16日(日) 福祉ふれあい祭
- 20日(木) TPP交渉参加反対みやざき県民集会
- 26日(水) 東臼杵郡障がい者スポーツ大会
- 29日(土) 第28回東九州自動車道建設促進大会

11月

- 5日(土) いきいきまちフェスティバルin門川 日向市制施行60周年記念式典
- 9日(水) 日向市郡東臼杵郡町村議会議長連絡会 議員研修会
- 10日(木) 宮崎県町村議会議長会幹部議員研修会
- 15日(金) 町村議会議長全国大会
- 25日(金) 東臼杵郡町村議会議長会視察調査 議会運営委員会
- 28日(月) 東臼杵郡町村議会議長会定例議長会
- 30日(水) 中須雨水ポンプ場竣工式
- 13日(火) 宮崎県町村議会議長会役員会

12月

- 2日(金) 東臼杵郡町村議会議長会定例議長会
- 6日(火) 第4回定例会 開会
- 13日(火) 閉会

第2回臨時会

11月11日

かどがわ温泉心の杜木質ペレットボイラー設置工事の請負契約について臨時会を開いた。

提案理由

工事の内容はコンテナ一体式ペレットボイラーと蓄熱槽を設置する工事である。当初2基のボイラーを設置する予定が、県の指導により1基となり、設計の変更を行い入札を行った。5社で入札を行い、宮崎市の江坂設備工業株が5280万円で落札したので契約のため提案するものである。

主な質疑応答

問 入札の執行については、1千万円以上の入札は6社以上の規定があるが、今回5社で行っているのはなぜなのか。

答 入札の通知は7社に出したが、2社が辞退し、5社で入札を行った。

問 2番目の入札額は。

答 6300万円です。

問 1基で対応できるのか、また、ボイラーはなぜ外国製なのか。

答 1基で十分対応できる。予備として既設の灯油ボイラーを使用する。外国産を使ったのは、使用するペレットに対応できるボイラーが外国製であった。



【全員賛成で可決】

一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について臨時会を開いた。

提案理由

内容は、人事院勧告を受けて、40歳以上の中高年齢に限定して、月例給を平均0.3%引き下げの改定である。対象となる職員71名で平均年間1万7千円、総額で123万円の減となる。平成23年12月1日より施行する。

主な討論

賛成 人事院勧告は尊重しなければならぬ。民間企業の情勢、従業員の給料等を勘案した場合、職員にはそういう痛みを理解してほしい。

反対

人事院勧告は尊重する必要があるが、宮崎県は全国で最下位の賃金である。給与を下げることは、消費の減少につながり、また企業収益の減少、雇用環境の悪化というような形で地域経済の低迷になるのではないか。

また、40歳代は子育ての真っ最中でお金がかかる時期でもあること等を踏まえて反対する。

【賛成多数で可決】
(賛成9名・反対4名)



まちかどフラッシュ



遠見山ウォーキング



上納屋海岸からの日の出



消防出初式(海浜総合公園)



向ヶ浜海岸からの日の出



門川町議会

初春の
ごあいさつを
申し上げます



編集後記

◆ 昨年は数々の自然災害が発生し、被災された方々には、様々な思いで新年をお迎えることができず、心よりお悔やみのことかと存じます。

◆ 議会における課題の一つが議会の活性化。全議員が参加して議事機関としての議会のあり方を研究しているところです。

◆ 議会だよりが発刊以来33年経過し、歴史の重みを感じます。研修を実施し、意気込みを新たにしたいところです。

◆ 門川町にとってもよい一年となりますように尽力してまいります。

議会広報編集特別委員

- 委員長 朝倉利文
- 副委員長 森 誠一
- 委員 森川春夫
- 委員 菊地稿治

議会傍聴のご案内
12月議会では、延べ22名の方が傍聴にきてくださいました。ありがとうございました。
次回の定例会は3月です。皆様の傍聴をお待ちしております。

お問い合わせ先 議会事務局
TEL 63-11140
(内線271)



発行所/門川町議会議長 安田茂明
編集/議会広報編集特別委員会 TEL 63-9-06666
印刷/ヤマト印刷